

心温かい人々が暮らす町

「デートDV」って何?

デートDVとは

DVとは、ドメスティック・バイオレンス (Domestic Violence)、日本語では「家庭内暴力」と訳されますが、一般的には「配偶者や恋人などの親密な関係にある者(又は、あった者)から振るわれる暴力」を指しています。DVは、誰にでもおこり得る身近な問題ですが、暴力は決して許されるものではありません。また、DVは、犯罪や人権侵害につながる行為であり、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法(平成13年法律第31号))も制定されています。

そして、DVの中で、特に交際中の相手から受ける様々な暴力を「デートDV」と呼んでいます。

「デートDV」チェックリスト

皆さんは、「デートDV」を他人事と思っていませんか?まずは、チェックリストで交際相手との関係について自分の意識を確かめてみましょう。

- 交際相手が異性の友人と話すことや交流することを許せない。
- 交際相手の携帯電話をチェックしたりメールなどを勝手に消去してしまう。
- 携帯電話やメールはすぐに応答・返信がないとイライラしてしまう。
- 交際相手の服装や髪型が自分の好みどおりになっていないと気分が悪い。
- カッとなると大声で怒鳴ったり、暴力を振るってしまう。
- 借りたお金を返していないのに、さらにお金をせびってしまう。
- 特に気にすることなく、交際相手を自分の所有物のように扱ってしまう。
- 交際相手が意見を述べたり主張したりすることが気に入らない。
- 付き合っているんだから、交際相手は自分に合わせるのが当然である。
- 上手くいかないことや気に入らないことがあると、交際相手を責めてしまう。
- どこで何をしているか、交際相手の行動を全て知っていたい。
- 交際相手と親密な間柄ならば、多少の暴言や暴力は許される。



対等な関係を築くために

どんな理由があっても、暴力は許されることではありません。交際相手と対等な関係を築くためには、どうしたらよいでしょうか?

- **暴力を認めない**
暴力を正当化することは間違いです。どんな事情があっても、暴力を認めてはならないのです。
- **自分のことを大切に**
自分の気持ちや身体を大切にしましょう。無理に相手に合わせる必要はありません。いやなことは、はっきり「NO」と相手に伝えましょう。
- **相手のことも大切に**
自分の主張だけを言うのではなく、相手の話にも耳を傾けましょう。自分とは違う考え方や意見を認め、相手のことを思いやりましょう。

ひとりで悩まずにご相談ください

もし、あなたがデートDVで悩んでいたなら、一人で抱え込まないで、保護者、先生、友だち、専門の相談機関に相談しましょう。また、友だちがデートDVで困っているときは、声をかけて、話を聞いてみましょう。自分の考えを押しつけるのではなく、友だちの気持ちを大切にしながら、専門の相談機関への相談を勧めましょう。全国の法務局の人権相談窓口では、法務局職員又は人権擁護委員が相談に応じます。相談は無料で、内容については秘密を厳守します。一人で悩まずに、まずは相談してください。

【法務局・地方法務局の人権相談】

(平日午前8時30分から午後5時15分まで)

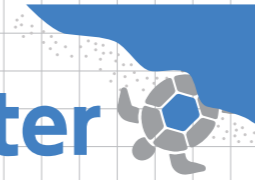
みんなの人権110番(全国共通)	☎ 0570-003-110
女性の人権ホットライン(全国共通)	☎ 0570-070-810
子どもの人権110番(全国共通・通話料無料)	☎ 0120-007-110



町民一人ひとりが相手を思いやり、多様な価値観を認め合う社会をめざしましょう。

「心温かい人々が暮らす、にぎやかな過疎の町」美波町であり続けるために人権について考え守っていくことがまさに、「にぎやかそ」美波町まちづくりにつながります。このコーナーでは人権に対する思いを掲載していきます。

ウミガメ No.19 News Letter



リニューアル企画

日 和佐うみがめ博物館カレッタは、6月1日から来年3月31日(予定)まで展示リニューアル工事の為、一時閉館させて頂いています。皆様にはご迷惑をお掛けしていますが、しばらくお待ちください。今年のリニューアルでは、カメ類が進化してきた過程やウミガメに関する最新の研究情報を取り入れた展示を企画しています。また、昭和25年から始まった日和佐中学校科学部によるアカウミガメの研究活動を紹介する展示も企画しています。日和佐中学校の研究活動は、35年の時を経て「日和佐うみがめ博物館カレッタ」を誕生させ、その後、「日和佐国際海亀会議」が開催され、世界で最も古いウミガメの研究活動が旧日和佐町で行われていたことが大きな驚きと共に世界に発信されました。そして、その国際会議の場で、日本でのウミガメ保全活動の中核となっている

「日本ウミガメ協議会」の発足につながりました。こうしたウミガメ保全活動の経緯や、古くからウミガメと隣人の様な関係が現在にまで続いている様子などから、美波町が「ウミガメの聖地」であることを広く発信する展示企画を進めていますので、ご期待ください。しかし、ウミガメを取り巻く状況は決して明るくありません。何より日和佐大浜海岸に産卵するアカウミガメの数は、最も多かった頃に約300回を記録した後、急激に減少して、その回復の気配もないまま現在に至っています。このままでは、「昔はウミガメが産卵に来ていた聖地」になってしまうのではないかとの強い危機感を感じています。先人が残された歴史や文化を継承することは、極めて大切な事と考えています。一方で、問題のある事柄について改善の兆しが見られないまま、同じことを繰り返すことは、本質的な問題から目をそらして傷を広げるだけです。一度立ち止まって、よく考え、新たな対策を考えて、ウミガメとの付き合い方を変えていく事も必要でしょう。美波町民1年生の館長ですが、「外から見える」こともあるのではないかとの思いで、様々な提案をさせて頂きながらリニューアルとアカウミガメの保全活動を進めていきたいと思ひます。(館長：平手康市)

うみがめについての質問をお送りください。お答えします!
〒779-2304 徳島県海部郡美波町日和佐 浦369 うみがめ博物館カレッタ「質問係」



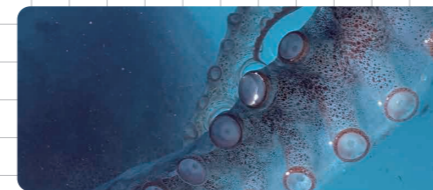
応募フォーム

カメの甲羅は取り替えられるの?

カメの甲羅は、外側から鱗板(りんぱん:ツメの様な物)、背骨と肋骨が板状に変化した骨で出来ていて、脱いだり、取り替えることはできません。ヤドカリは成長に合わせて巻貝の殻を取り替えますが、巻貝は自分で殻を作るので取り替えることができないことと一緒です。

みなみの海のいきもの図鑑

太平洋に面する美波町では多くの生き物たちが生息しています。このコーナーでは実際に撮影してきたリアルな写真と共にいろんな生き物たちをご紹介します!



アマダコ *Ocythoe tuberculata*

先日、漁師さんが珍しいタコを持ってきてくれました。普通のタコと違い、熱帯から温帯の外洋を浮遊しているアマダコです。ラグビーボールのような胴体で、腹側には突起がありデコボコしています。表面が網目模様に見えるのも特徴です。体を覆うように胴体へ伸びる腕

は、マダコより柔らかい感触です。成体の胴体はメスで約30cm、オスで約3cmになります。今回捕獲されたアマダコは胴体が約20cmなのでおそらくメスでしょう。オスや幼体はサルパの「ぬげがら」に入り、浮遊生活をする生態をもっており、メスは大きくなるとサルパを抜け出して海を漂いながら暮らすといわれています。今回はカレッタのリニューアル工事の兼ね合いもあり、アマダコのために良い飼育環境を整えるのは難しいと判断し、他の施設に飼育を委ねました。

アマダコは分かっていないことが多く、いくつかの施設で飼育例はあるものの長期飼育は難しいのが現状です。これからどんどん生態が明らかになっていくと思いますが、今回のアマダコの発見も重要な情報です。(ダイバー：長楽美保)



※サルパ・・・かたいビニールの様な透明の「から」を持つホヤの仲間です。クラゲのように海を漂う生き物